

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2025-2026

ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 2520

GOVERNOR: TAKEHIKO KATOH

CONTENTS

ガバナーメッセージ	02
特別月間テーマに寄せて	04
特集「大船渡森林火災から1年」	05
ガバナー公式訪問報告・ ロータリーの友表紙コメント	07
新入会員紹介・退会者報告・ 地区大会のお知らせ	08
クラブ会員数・寄付状況	09
寄付認証/財団表彰・お知らせ・ 編集後記	10

2

2026

月信

VOL.08



ガバナーメッセージ



— 希望の花を平和の大地に カーベラに託すロータリーの使命 —

国際ロータリー第2520地区ガバナー

加藤 雄彦 TAKEHIKO KATOH

冬の寒さがまだ残る2月、それでも日差しの中に春の気配を感じる季節となりました。今月の花「カーベラ(ガーベラ)」は、鮮やかな色と凛とした姿で人々の心を明るく照らします。花言葉は「希望」「前進」「常に前向き」。どんな環境でも太陽に向かって咲くその姿は、平和を信じて行動する私たちロータリアンの心を映しています。

■ 平和構築と紛争予防月間に寄せて

国際ロータリーは2月を「平和構築と紛争予防月間」と定めています。平和とは、単に戦争がない状態を意味するものではありません。貧困や差別、不平等、無関心といった“暴力の根”を取り除くことによって初めて実現します。相手を理解し、尊重し合う関係こそが、持続的な平和の礎となるのです。

ロータリーの創始者ポール・ハリスは、生涯を通じて「理解」を平和の原点と捉えました。1921年、国際大会に寄せたメッセージの中で次のように語っています。

“Rotary believes that the better the people of one nation understand the people of other nations, the less the likelihood of friction.” 「一国の人々が他国の人々をよく理解すればするほど、摩擦は起きにくい。」
— 1921年 国際大会メッセージより (rotary.org)

この言葉は100年以上を経た今日も、ロータリーの使命を明快に示しています。国や文化を越えた理解と友情こそが、平和への第一歩であり、私たちが築いてきた信頼の礎です。今こそ「理解こそ平和の鍵である」という原点に立ち返る時です。

■ ロータリー創立121周年 — 世界理解と平和の日

1905年2月23日、一人の若き弁護士ポール・P・ハリスは、「異なる職業の人々が友情を育み、互いに

信頼し合える社会をつくりたい」という夢を抱きました。彼の呼びかけに応じた3人——鉱山技師のガスターバス・ローア、石炭商のシルベスター・シール、仕立業のハイラム・ショーレイ——が集い、シカゴの小さな事務室で世界最初のロータリー・クラブが誕生しました。この出会いは、地位や利益を超えた「友情」と「奉仕」の精神を生み出し、やがて115万人のロータリアンへとつながる壮大な運動の始まりとなりました。

この日を記念して、国際ロータリーは2月23日を「世界理解と平和の日」と定めています。そして2026年、ロータリーは創立121周年を迎えます。一世紀を超える歴史の中で、ロータリアンたちは二度の世界大戦、数々の災害、社会の分断といった試練に直面しても、「理解と友情による平和」という信念を決して失いませんでした。ポリオ根絶、災害復興、人道支援、教育支援——どの時代も、奉仕を通じてより良い世界を築くという志が脈々と受け継がれてきました。私たちが受け継ぐべきは、その不変の理念であり、行動する勇気です。

■ 人づくりが平和づくり — ロータリー平和センター

ロータリーは、真の平和は「人によってつくられる」との信念のもと、世界各地に「ロータリー平和センター」を設立しています。現在、平和センターは7か所に設置されています。米国デューク大学／ノースカロライナ大学、英国ブラッドフォード大学、オーストラリア・クイーンズランド大学、スウェーデン・ウプサラ大学、タイ・チュラロンコン大学、ウガンダ・マケレレ大学、そして日本の国際基督教大学(ICU)です。

これらの大学院や研修機関では、世界各地から集まるフェローが平和と開発を学び、対話と協調によ

る紛争解決を実践する力を育んでいます。これまでに1,800名を超える修了生が巣立ち、国際機関、政府、NGO、教育・医療・報道などの分野で「平和の専門家」として活躍しています。一人の若者がロータリーの奨学金を通じて世界へ飛び立ち、やがて地域の争いを和解へと導く——その連鎖こそ、ロータリーの真の奉仕の形です。人づくりこそが平和づくりであり、次の時代への最大の投資であることを、私たちは忘れてはなりません。

■ 日本・ウクライナ国際共同委員会(ICC)の誕生

2024年11月、日本の12地区とウクライナ第2232地区との間で、日本ロータリー史上初の国際共同委員会(Intercountry Committee: ICC)が設立されました。第2520地区もその一員として、医療機器の提供、青少年交流、文化協働などを通じてウクライナ支援を続けています。

ICCの目的は「支援」ではなく「協働」です。互いの文化と尊厳を尊重し、友情のもとに未来を築くことこそ、真の平和構築であり、国際ロータリーのスローガン“UNITE FOR GOOD”の精神を体現しています。

2025年7月、仙台育英学園高校インターアクトクラブとウクライナ・チェルカースィ第27学校の生徒たちが共に植えた友情の桜——“SAKURA PROJECT 2025”。その桜は、戦禍を越えて手を取り合った若者たちの希望の象徴として、日本とウクライナの未来を静かに照らし続けています。一輪の花に込められた平和への祈りが、やがて世界を包む大きな和解の光となることを願わずにはいられません。

■ カーベラのように — 希望は前を向いて咲く

カーベラは、一年を通してどんな環境でも太陽に向かって咲き続ける花です。その生命力は、希望を

信じて行動するロータリアンの姿そのものです。

ポール・ハリスはこうも語りました。

“The way to war is a well-paved highway, and the way to peace is still a wilderness.” 「戦争への道はよく舗装されているが、平和への道はまだ荒れ野のようである。」

私たちの奉仕とは、この“荒れ野に道を拓く”地道な営みです。理解と寛容、思いやりを一つひとつ積み重ねることで、その道は少しずつ明るく照らされていきます。平和は遠い理想ではなく、私たちの日常の中に芽生える小さな行動の積み重ねです。クラブ例会での温かな握手、地域奉仕での微笑み、異文化の若者との対話——それらのすべてが平和の種となり、やがて大輪の花を咲かせます。

■ 結びに

創立121周年を迎えた今、私たちは改めてロータリーの原点に立ち返る時を迎えています。友情を通じて理解を深め、人と人、国と国をつなぐこと。それがポール・ハリスの夢であり、私たちが次の世代へ託す使命です。

この2月、ぜひクラブ例会や奉仕の場で「平和とは何か」を語り合ってください。地域に友情と理解の種をまき、平和の花を咲かせていきましょう。カーベラの花言葉のように、「希望」と「前進」を胸に、共に新しい平和の春を迎えたいと思います。

特別月間テーマに寄せて



「平和構築と紛争予防月間によせて」

仙台育英学園高等学校インターアクトクラブ顧問

今田 琢也

ロシアによるウクライナ侵攻が始まってから間もなく4年。和平交渉は停滞し、平和構築の難しさを痛感させられる日々が続いています。本学園では、発生当初から学校をあげてウクライナ支援に取り組んでまいりました。インターアクトクラブとしましても、現地の子どもたちに絵本を送るための「ひまわりプロジェクト」をはじめ、各地での募金活動や文化祭における展示活動などに取り組み、ウクライナの人々へエールを送り続けています。

以前から難民支援活動などに取り組む中で、遠い国や地域でおこっている紛争に対して、募金活動以外で高校生にできる支援とは何だろうかと思い悩むことがありました。もちろん募金活動を通して人々に呼びかけ、支援の輪を広げていくことは重要です。大きな金額が集まれば達成感も大きく、そのお金はきっとどこかで誰かの役に立っています。しかし、何かが足りないような気持ちになるのです。以前、ボランティアのシンポジウムに引率した際、一部の生徒も同様の想いを抱いていると知りました。強いて言語化するならば、具体的な手ごたえのようなものがほしいのではないかと思います。

そんな折、加藤ガバナーからウクライナ現地の高校生と直接交流できるというお話をいただきました。願ってもない機会を頂戴し、多方面でご協力を頂戴した地区

ロータリアンの皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。生徒は半年間のオンライン交流の中で現地の状況を知り、他文化理解を深めつつ、7月の来日に向けた準備を重ねました。5月にはウクライナの戦後を見据えて沖縄の米軍基地の事例から自由と平和について考えるラーニングセミナーも実施しました。印象的だったのは、生徒がとても前のめりに活動に臨んでいたことです。オンライン交流ではSNSを活用して瞬く間に親睦を深め、贈り物としての「絆」の鶴文字や七夕飾りのデザイン作成など、来日する皆さんに喜んでほしい一心で、それぞれがベストを尽くしていたように思います。特に歓迎会で「We are the world」の合唱を披露した際、ウクライナ人学生が流した涙を見て奉仕活動の尊さを改めて実感できました。一方的な善意ではない、心がつながる瞬間がそこにあったと思います。(一連の活動の集大成としての年次大会でも大変お世話になりました。)

私はインターアクターであった頃から、ロータリーソングの「手に手つないで」が好きです。ロータリーの重点分野の全てを根本から支える平和の構築に向けては、一人ひとりが当事者意識をもって手を取り合い、対話を重ねていくほかないのだと思います。国連が機能不全に陥っている今、より実効性のある新たな組織、ルールの

形成が急がれます。そのきっかけが次なる大戦とならないよう、慎重かつ冷静に国際情勢を見極めるための広い視野に加え、草の根的な活動を通して紛争予防に貢献していく姿勢が養えるような活動を目指していきます。ドイツの哲学者エマニュエル・カントは、その著書『永遠平和のために』の中で、永遠平和を「われわれに課せられた使命である」と記しています。今の高校生たちの発想力やリサーチ力、行動力に驚かされることは少なくありません。若者の力を信じて希望を養い、使命を果たすべく、ともに未来を紡いでいくことができればと願っています。



特集 大船渡森林火災から1年



2024-25年度ガバナー
佐藤 剛

「大船渡山林火災への支援に関する中間報告」

大船渡市を襲った未曾有の大規模山林火災。これはRotaryの総力を結集しての支援が必要と思いました。行動は早めが肝要ですが、「過ぎたるは及ばざるが如し」なる教訓も思い出し、まずは鎮火が宣言され、焼失面積が確定してから、国内33地区ガバナー宛てに支援をお願いしました。2024年1月1日発生の能登半島地震に対する支援活動も、やっと輪郭が見えてきた時点での新たな支援要請は、各地区に更なる負担を強いる事となり決断まで多少時間を要しましたが、全国の同期ガバナーから「佐藤君、何をどうすれば良いですか？」というメールが背中を押して下さいました。結果は皆様御存知の通り、実に7,000万円を超える支援金が地区内も含め集まりました。支援金の使い方は大船渡市内2クラブに全て任せました。東日本大震災の際、支援金の使用に関し、彼等が感じた不平等、不公正が二度と起こらぬ様にすべくでした。



大船渡RC 会長
新沼 和幸

2025年2月26日、大船渡市で林野火災が発生。後に「平成以降最大規模」と報じられる未曾有の大火となりました。

発生初日は避難所へお米100キロを、翌日には炊き出し費用として10万円の拠出。3日目には下着等や湿布を購入し避難者へ。

そんな中、ガバナー事務所へ物資のお願いをしたところ各地のクラブや個人として支援物資の持ち込みや送付いただき、改めてロータリーの皆様の迅速な行動と奉仕の心に感謝申し上げます。

それだけではなく、佐藤剛パストガバナーの呼びかけに全国のロータリークラブの皆様より約7,400万円の義援金が集まり大船渡西RCと協働し、うち5,300万円を住宅や生業を失った方々へ、残る2,100万円は消火活動に尽力された大船渡消防署へ災害時の移動手段として消防仕様のマイクロバスを寄贈することとなりました。

皆様よりお寄せいただいた心温まるご厚意が被災された方々の励ましとなり、復興および消防体制の充実につながっていくよう今後も活動を続けて参ります。



大船渡西RC 会長
菅野 嘉洋

令和7年2月に発生した大船渡市の林野火災につきましては、全国のロータリアンの皆様より本当にたくさんのご支援をいただきありがとうございます。

去る5月24日・25日に大船渡・大船渡西クラブ共同で、住宅および倉庫(漁具)に損害が発生した方および被災された事業者を対象とし、のべ142件に対し支援金をお配りいたしました。被災されたほぼ全員と対面して手続きを行った次第ですが、「本当にありがたい」「助かります」という声をたくさんいただきました。特に倉庫の損害についてはどこからも補償がない状況でしたので、その点も非常に喜んでいただきました。被災された方達の心の中に少しばかりでも灯りをともせられたのかなと思います。

短期間で多くの支援金を届けてくださった全国のロータリアンの皆様および呼びかけを行ってくださった佐藤剛パストガバナーに心より感謝申し上げます。

残りの支援金の使途が形になりましたらあらためて皆様にご報告したいと思います。

ガバナー公式訪問報告

第6分區 加美ロータリークラブ

■ 開催日：12月3日（水） ■ 会場：加美RC事務所
 ■ 同行者：早坂 竜太 ガバナー補佐



会長幹事会では、加藤ガバナーからの講話の中で加美RCが抱えていた問題点の解決に繋がるお話を頂きました。加藤ガバナーからは、慌てる事もないので少しずつ取り組んで下さい。と安心できる言葉も頂けたので、少しずつでも取り組みながら改善に向かいたいと思います。更には、前向きになるお話やアドバイスもご教授頂けたので今後のクラブ運営に役立てて参ります。例会に於いては、和気藹々とした雰囲気の中、世間話も交えて開会点鐘が鳴りました。珍しく豪華な昼食を頂きました。加藤ガバナーからは昨今のロータリーの変化や変化に伴う方向性、新曲などの講話を頂き、先輩会員にとっては温故知新のロータリーの在り方、新会員にとってはロータリークラブとしての可能性を見出す機会になったようです。加藤ガバナー、早坂ガバナー補佐、畠山様。遠路遥々雪山望む加美RCまでお越し頂き、ありがとうございました。（報告者：松倉 裕樹／加美RC 幹事）

第6分區 岩出山ロータリークラブ

■ 開催日：12月4日（木） ■ 会場：割烹 日富見家
 ■ 同行者：早坂 竜太 ガバナー補佐



会長幹事会にて当クラブの事業計画を説明させていただきました。その上で当クラブなりの少数で運営し体制を作っていくなどのご指導を頂きました。だからこそ会員の増強については特に注視されており、クラブ運営を円滑に進めていくためにも一人でも多くの会員増強をということでした。

例会では、モニターを使用し、ロータリーを楽しみながら、どうクラブ運営をしていくのか？また、2年後3年後のロータリーのために今、加藤ガバナーが道を切り拓いているんだと力強く講話して頂いたのが印象的でした。2年後、3年後の未来のために、今やるべきこと、今やらなきゃいけないこと共感しながら今後のクラブ運営に取り組んでいきたいと思いました。御多忙中の加藤ガバナー公式訪問に感謝申し上げます。

（報告者：結城 英樹／岩出山RC 幹事）

ロータリーの友11月号 —表紙制作と採択のコメント—

仙台南・白石衛星クラブ 佐藤 慶子



普段は花などの写実的な絵を描いてますが、この作品は親しい人が天国へ旅立った時、心の中に浮かんだ風景を抽象的に表現したものです。深い悲しみの中にあいながらも、人と人とのつながりや、祈り、未来へと続く希望の光を感じ取り、色や形の重なりとして描きました。画面に見える「ハシゴ」のようなモチーフは道しるべであると同時に互いに支え合いながら一歩ずつ前へ進む人の歩みを象徴しています。出会いと別れを通して生まれる人とのご縁の尊さに想いを寄せ、そのご縁への感謝の気持ちも込めました。明確な答えや解釈を示すものではなく、見る人それぞれの想いに委ねることで、思いやりと奉仕を大切にするロータリーの精神に響き合う作品になることを願っています。「ロータリーの友」表紙掲載、そのご縁に心より感謝申し上げます。

新入会員紹介・退会者報告・地区大会のお知らせ

新入会員紹介



退会者報告

クラブ名	氏 名	職業分類	退会日
陸前高田 RC	河野 和義	食品加工販売業	2025.12.16
陸前高田 RC	宮崎 心	印刷業	2025.12.16
陸前高田 RC	永田 宗義	ガス販売業	2025.12.16
仙台レインボー RC	目黒 一夫	総合エンジニアリング	2025.12.26
石巻東 RC	中川 尚仙	住宅資材販売業	2025.12.30
仙台泉 RC	佐々木慎太郎	行政書士	2025.12.30
名取 RC	バートル・エルデネ・ダライ	貿易業・旅行業	2025.12.30
花巻南 RC	澤田 隆道	建設業	2025.12.31
仙台南 RC	早坂 慎一	建設不動産業	2025.12.31
大和 RC	高嶋 征夫	建築木工業	2025.12.31
大和 RC	下坂 秀逸	ホテル業	2025.12.31
大和 RC	伊藤 新一	建設業	2025.12.31
大和 RC	相澤 瞭治	稲作業	2025.12.31
大和 RC	大須 賀啓	観光業	2025.12.31
大船渡西 RC	藤丸 数子	-	2025.12.31
盛岡西北 RC	菊地 誠	印刷業	2025.12.31
大船渡 RC	水野 公正	玩具配布業	2025.12.31
仙台宮城野 RC	伊藤 英実	屋根工事業	2025.12.31
仙台北 RC	新田 哲也	清涼飲料水販売業	2025.12.31
仙台北 RC	大竹 和義	日本茶販売業	2025.12.31
盛岡東 RC	深澤 永二	情報処理業	2025.12.31

謹んでご冥福を
お祈り申し上げます。

大船渡西 RC
新沼 福三
2025年12月25日ご逝去
(享年74歳)
1991年12月28日入会

花巻南 RC
阿部 豊治
2026年1月7日ご逝去
(享年71歳)
2013年1月4日入会

国際ロータリー第2520地区 2025-2026年度 地区大会開催のご案内 地区大会スローガン “手を取って未来へ”

国際ロータリー第2520地区ガバナー 加藤 雄彦
地区大会委員長 大山 健太郎

■開催日 : 2026年4月17日(金)～18日(土)

■開催場所: ホテルメトロポリタン仙台

4月17日(金) 地区ロータリー研究会・地区財団表彰式・
ウクライナ大使歓迎夕食会

4月18日(土) 本会議・ガバナー対談・大会懇親会

※ ガバナー月信3月号に詳細なプログラム内容を掲載します

クラブ会員数・寄付状況

12月ロータリーレポート\$:							156
分 区		No.	クラブ名	会員数 (内女性)	財団寄付累計額 (ポリオ指定)	米山寄付 累計額	
第一分区	久慈・二戸	1	久慈	24 (1)	111,783	40,023	23,000
		2	二戸	47 (5)	110,618	0	415,000
		3	種市	17 (0)	5,000	5,000	0
	盛 岡	4	盛岡	71 (2)	717,090	80,747	535,000
		5	盛岡北	35 (3)	492,333	181,136	124,000
		6	盛岡西	22 (2)	363,953	97,091	85,000
		7	盛岡南	48 (2)	773,760	180,960	146,000
		8	盛岡東	27 (3)	1,412,424	172,672	128,000
		9	盛岡中央	27 (4)	279,672	61,272	57,500
		10	盛岡西北	40 (5)	669,928	10,360	160,000
		11	盛岡滝ノ沢	4 (3)	0	0	0
分区合計			362 (30)	4,936,561	829,262	1,673,500	

第二分区	花巻・北上	12	花巻	31 (2)	646,710	23,400	160,000
		13	花巻南	29 (1)	248,773	51,254	87,000
		14	花巻北	41 (3)	0	0	0
		15	北上	37 (4)	158,028	71,448	355,500
		16	北上西	20 (4)	32,415	32,415	119,000
		17	北上和賀	21 (4)	316,380	160,380	31,500
		奥 州	18	前沢	9 (0)	191,961	35,961
	19		水沢	16 (2)	75,379	0	164,000
	20		奥州水沢東	36 (7)	211,750	211,750	0
	分区合計			240 (27)	1,881,397	586,608	962,000

第三分区	一関・平泉	21	花泉	10 (2)	140,654	50,653	110,000
		22	一関	12 (1)	158,307	18,436	39,000
		23	一関中央	14 (6)	434,505	156,000	456,000
	大船渡・高田・ 千蔵・気仙沼	24	大船渡	27 (2)	98,026	98,026	56,000
		25	大船渡西	29 (4)	268,451	221,893	75,000
		26	陸前高田	14 (0)	77,290	22,422	17,000
		27	千蔵	22 (3)	0	0	0
		28	気仙沼	19 (0)	0	0	0
		29	気仙沼南	35 (1)	35,435	35,435	205,000
分区合計			182 (19)	1,212,669	602,865	958,000	

第四分区	遠野・釜石	30	釜石	20 (1)	13,847	8,611	60,000
		31	釜石東	29 (3)	0	0	80,000
		32	大槌	6 (0)	46,800	18,720	18,000
		33	遠野	10 (2)	202,599	50,650	0
	山田・宮古	34	宮古	28 (2)	315,630	96,319	60,000
		35	宮古東	20 (1)	212,001	20,940	70,000
		36	山田	19 (1)	118,115	24,515	0
分区合計			132 (10)	908,992	219,756	288,000	

第五分区	三陸	37	石巻東	40 (0)	375,501	375,501	20,500
		38	石巻西	31 (3)	263,170	21,370	15,500
		39	石巻南	20 (1)	163,299	7,299	9,500
	登米・栗原	40	栗駒	13 (1)	79,134	79,134	0
		41	築館	17 (2)	726,960	79,560	837,000
		42	佐沼	58 (7)	244,046	20,018	387,000
		43	若柳	27 (6)	101,400	0	27,000
	分区合計			206 (20)	1,953,512	582,883	1,296,500

第六分区	大崎	44	古川	41 (2)	476,627	25,325	346,000
		45	古川東	43 (1)	309,789	46,203	200,000
		46	岩出山	11 (1)	121,452	58,631	105,000
		47	加美	19 (0)	15,600	0	0
	松塩	48	松島	5 (0)	171,600	0	10,000
		49	塩釜	28 (1)	8,424	0	81,000
		50	塩釜東	11 (1)	24,002	10,614	32,000
		51	多賀城	20 (2)	148,024	44,730	166,000
			多賀城1300	23 (7)			
		52	利府	8 (1)	0	0	0
		53	七ヶ浜	13 (1)	0	0	0
分区合計			222 (17)	1,275,518	185,503	940,000	

第七分区	仙台青葉	54	仙台	127 (5)	4,994,363	424,593	1,391,100
		55	仙台東	52 (3)	445,227	66,130	343,000
		56	仙台青葉	46 (0)	44,912	44,912	242,000
		57	仙台冠	22 (4)	38,496	33,322	0
	仙台広瀬	58	仙台レインボー	10 (3)	40,193	12,564	40,641
		59	仙台南	46 (3)	851,975	117,604	240,000
			仙台南一 白石衛星	18 (8)	0	0	0
		60	仙台北	57 (3)	275,126	250,634	157,500
		61	仙台東	52 (0)	308,312	277,112	527,500
		62	仙台西	36 (1)	298,703	10,009	165,000
		63	仙台宮城野	29 (1)	10,911,223	5,426,664	157,000
		64	仙台奥羽	23 (4)	127,341	49,878	24,000
	分区合計			518 (35)	18,335,873	6,713,423	3,287,741

第八分区	阿武隈	65	岩沼	26 (2)	439,430	137,385	377,500
		66	名取	34 (3)	282,583	68,060	122,500
		67	亶理	11 (0)	98,280	14,040	22,000
		68	角田	16 (0)	53,110	53,110	0
		69	丸森	15 (0)	0	0	0
		蔵王	70	白石	19 (3)	137,076	0
	71		柴田	19 (1)	353,005	15,764	216,000
	72		村田	13 (1)	60,840	0	52,000
	73		大河原	31 (4)	195,396	98,567	242,000
	分区合計			184 (14)	1,619,720	386,925	1,071,000
	地区合計			2,046 (172)	32,124,242	10,107,224	10,476,741

RAC (4)	1	宮古RAC	5(2)
	2	古川東RAC	6(2)
	3	仙台RAC	3(0)
	4	仙台東RAC	28(8)
RAC合計		42(12)	

寄付認証 / 財団表彰・お知らせ・編集後記

寄付報告(12月認証)

■ロータリー財団

認 証	所 属	氏 名
メジャードナー	奥州水沢東RC	錦山 功
ベネファクター	柴田RC	牛澤 啓至
マルチプル・ ポール・ハリス・ フェロー	花巻RC	鹿討 康弘
	一関中央RC	小野寺勘治
	築館RC	大場 伸也
	築館RC	本間 昭英
	築館RC	白鳥 淳
	岩沼RC	鯨岡 一志
	白石RC	後藤 拓樹
ポール・ハリス・ フェロー	盛岡北RC	片方 直哉
	盛岡北RC	高宮 良作
	北上和賀RC	高橋 範行
	花泉RC	千葉 安男
	築館RC	鈴木 守夫
	多賀城RC	芦澤 卓也
	仙台泉RAC	友部 匡博

■ロータリー米山記念奨学会

表彰名	所 属	氏 名
米山功労者 メジャードナー	築館RC	高橋 文人
	築館RC	野口 好江
	築館RC	本間 昭英
	築館RC	浅野 良弘
	築館RC	宮城島 堅
	築館RC	白鳥 淳
米山功労者 マルチプル	北上RC	佐藤 博文
	一関中央RC	菅野 花子
	一関中央RC	小野寺勘治
	築館RC	門傳 英慈
	仙台RC	安曇 謙三
	岩沼RC	小野 照代
	岩沼RC	鯨岡 一志
米山功労者	岩沼RC	大友 浩幸
	築館RC	三浦 和茂
	大河原RC	高城 英男

表彰名	表彰クラブ
米山功労クラブ	水沢ロータリークラブ

第2520地区ホームページからのお知らせ ※詳細はホームページをご覧ください

公共イメージ委員会が制作したポッドキャスト番組第2弾「仙台育英120年の「自治進取」と世界平和。加藤雄彦ガバナーが語る教育とロータリー」を掲載しました

2025-2026年度地区大会【手を取って未来へ】(2026.4.17 ~ 18)のご案内を掲載しましたロータリーマガジン2025年12月号のご案内を掲載しました

ロータリーマガジン2026年1月号のご案内を掲載しました

RI第2520地区 加藤 雄彦ガバナーからの新年のご挨拶(Youtube)を掲載しました

編集
後記

私はロータリーの友の地区委員長も拝命しておりまして、仙台南・白石衛星クラブ 佐藤 慶子さんの作品が友11月号の表紙を採択されたことが大変嬉しく、月信2月号でコメントを頂戴し掲載することができました。親しい人が天国へ旅立った時の佐藤さんの想いを込めた素敵なコメントでした。ありがとうございました。

ロータリーの友には、あちこちにキラリと輝く、心に染み込むお話しがばら撒かれています。パラパラめくりで素通りはもったいないので、ぜひご自身の宝物になる記事をピックアップしてくださいませ。

月信・ホームページ・ロータリーの友担当幹事 三浦 泰弘(仙台RC)